

学習指導案 略案様式（特別の教科 道徳を除く）

3 年 1 組	指導者	〇〇〇〇	教科等	体育科
単元	単元名等	ゴール型ゲーム「タグラグビー」		
	目標	評価規準 ※どちらかを選択し、 で囲ってください。		
	知識及び技能	知識・技能	○タグラグビーの行い方について、言ったり書いたりしている。 ○ボールを持ったときにゴールに体を向けることができる。 ◆味方にボールを手渡ししたり、パスを出したり、ゴールにボールを持ち込んだりすることができる。 【E（1）ア】	
	思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現	○攻めを行いやすいようにするなどの規則を選んでいる。 【E（2）ア】	
			○ボールを持っている人とボールを持っていない人の役割を踏まえた作戦を選んでいる。 【E（2）イ】	
			○パスを出したり、ゴールにボールを持ち込んだりするときの工夫を友達に伝えている。 【E（2）ウ】	
	学びに向かう力、人間性等	主体的に学習に取り組む態度	○ゲームに進んで取り組もうとしている。 【E（3）ア】	
			○規則を守り、誰とでも仲良くしようとしている。 【E（3）イ】	
			○用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしようとしている。 【E（3）ウ】	
			○ゲームの勝敗を受け入れようとしている。 【E（3）エ】	
○友達の考えを認めようとしている。 【E（3）オ】				
		○場や用具の安全を確かめている。 【E（3）カ】		
単元の学習展開（全 9 時間）				
入 導	☐ 学習の進め方の見通しをもつ。			
展 開	☐ 基本的なボール操作を身に付け、ルールを覚える。			
	☐ チームに合った簡単な作戦を選ぶ。			
末 終	☐ これまで学習したことを活かしてタグラグビー大会をする。			

本 時 (5 / 全 9 時 間)	ね ら い	タグラグビーのゲームを通して、チームに合った作戦を選んだり、作戦に合った練習をしたりすることにより、味方にボールを手渡ししたり、パスを出したり、ゴールにボールを持ち込んだりすることができるようにする。 （下線部…単元の評価規準との関連【◆知・技 観察・ICT】）	
	学 習 過 程	「めあて」 「チームに合った作戦を選んだり、チーム練習をしたりして、得点につながる動きをしよう」 ※本時は「課題」の設定をしていない	
		「振り返り」の視点 ・得点につながる動きをする中で、できたことやもっとやってみたいこと	
	重 労 力 徒 に 対 す る 状 況 の 見 立 て	【予想されるつまずき】	【必要な支援・手立て】
	・ボールを誰もいないところに放り投げたり、トライしたりすることができていない。	・仲間を見てからボールの手渡しやパスをしたり、ボールを持つ人のすぐ後ろについて受け取ったりする等、周りの動きを把握できるような言葉かけや練習の支援を行う。	